

# 福島第一原子力発電所 1号機原子炉格納容器 ガス管理システムの気体のサンプリング結果について

平成24年3月9日  
東京電力株式会社

【試料採取場所】 1号機原子炉格納容器ガス管理システム入口

【試料採取日時】 平成24年3月8日（木） 12：41

【測定結果】

核種	放射性物質濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	検出限界値 (Bq/cm <sup>3</sup> )	半減期	
ガスバイアル瓶	I-131	検出限界未満	1.3 × 10 <sup>-1</sup>	約8日
	Cs-134	3.5 × 10 <sup>-1</sup>	3.0 × 10 <sup>-1</sup>	約2年
	Cs-137	5.5 × 10 <sup>-1</sup>	3.6 × 10 <sup>-1</sup>	約30年
	Kr-85	検出限界未満	2.5 × 10 <sup>1</sup>	約11年
	Xe-131m	検出限界未満	2.9 × 10 <sup>0</sup>	約12日
	Xe-133	検出限界未満	2.4 × 10 <sup>-1</sup>	約5日
	Xe-135	検出限界未満	1.1 × 10 <sup>-1</sup>	約9時間

(参考) 短半減期Xeはいずれも検出限界未満。

未臨界の維持の確認は、ガス管理システム内に設置された放射線検出器により直接排気ガス中のXe-135の放射能濃度を測定し、監視している（保安規定）。